



東日本大震災における  
東海村の復旧について

みらいの会 高橋 昭 議員

**議員** 去る3月11日に発生した東日本大震災で、復旧の見通しも立っていない方々がまだ多く見受けられる現在、被害を受けた方々の立場に立って、確認することが最重要と考え、特に被害の甚大な東海中学校、照沼小学校、幼稚園、舟石川幼稚園、村松保育所、舟石川保育所、道路・下水道等の公共施設の復旧状況を質問する。

**総務部長** 東海中学校は解体工事を本年度、平成27年1月開校を予定。照沼小学校は平成25年4月開校。宿・舟石川幼稚園は耐震診断や耐震補強工事を実施し、その間仮設園舎。村松保育所は仮設園舎、舟石川保育所は百塚保育所で保育。道路の復旧の遅れている幹線道路動燃線は、現在鋭意工事を実施し、年度内完成、小松原笠内線は平成24年度完成になる。下水道の復旧工事は、被災延長8・9kmの復旧作業を進めている。しかし、住宅密集地区は通行止めや下水道を使用しながらの作業のため予想以上に時間を費やしている。

**議員** 被災家屋等の復旧と見舞金および義援金は他の市町村と比較して妥当であったか。また、日立市は被災家屋の修繕費の補助制度を採用しているがどうか。

**総務部長** 東海村見舞金支給条例によると、全壊が10万円、半壊が5万円、床上浸水が3万円、床下浸水が1万円であり、他の市町村と比べても差はない。一部損壊については修繕費補助を出すような方向で検討している。

臨時議会

11月2日に臨時議会が開催されました。村道路線の変更1件、一般会計補正予算、工事請負契約の締結5件、ひたちなか・東海広域事務組合規約の一部変更、合計8件の議案について慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

放射能測定装置、  
応急仮設住宅など  
一般会計補正を可決

福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能測定装置の購入(369万1000円)、応急仮設住宅の借上料(2994万円)、水田被災農家への支援措置としての転作奨励補助金(2100万円)など、緊急性の高いものに重点を置いた予算措置で、歳入歳出にそれぞれ5794万8000円を追加し、196億4465万1000円とするもの。

照沼小の建設工事、東海中等の解体工事の契約締結を可決

照沼小学校の建設工事(建築、電気設備、機械設備)およびグラウンド整備工事の請負契約を締結。また、東海中学校校舎や合同庁舎1号館、村松北施設の解体工事の契約を締結。

負担割合を加える。  
・新クリーンセンター  
：15%は均等に負担し、残りの85%をごみの搬入量の割合で負担する。  
・消防：50%は基準財政需要額の割合で負担し、残りの50%を東海村消防署に配置された職員数の割合で負担する。

新クリーンセンター  
と広域消防事務の  
市の負担割合を可決

ひたちなか・東海広域事務組合規約に共同処理する可燃ごみ事務、消防事務を加えるほか、その事務経費の

